

水の 話

FUJI CLEAN NEWS

2018
Autumn

NO. 181

[特集]

清澄な水と雄大な森の 楽園・支笏湖の魅力。

市街地から1時間の距離にある神秘の湖

特集

清澄な水と雄大な森の 楽園 支笏湖の魅力。

市街地から1時間の距離にある神秘の湖

吸い込まれるように深く澄み切った湖面に、周囲に並ぶ山々の姿が鏡のように映り込む。

支笏湖は、新千歳空港から1時間ほどの場所にもかかわらず、

雄大で原始的な自然と多種多様な動植物に満たされた、北海道屈指のネイチャースポットです。

さらに10年連続日本一となった水質は、驚くほどの透明感で、自然の美しさと神秘を感じることができます。

季節ごとに表情を変え、訪れる人を癒し続ける支笏湖。その魅力と秘密をご紹介します。

DATA

2018年8月1日現在

千歳市(人口96,936人 面積594.5平方キロメートル)

千歳市は北海道の中南部・石狩平野の南端に位置し、市域は東西に細長く広がっています。日本初の24時間空港を有する北海道の交通拠点であり、水と緑あふれる支笏湖のある西部と、自然豊かな農村エリアの東部など、多様な顔を持った中核都市です。

[取材協力・写真提供・資料提供]

- 環境省 北海道地方環境事務所 支笏洞爺国立公園管理事務所
- 一般財団法人 自然公園財団 支笏湖支部

[参考資料]

- パークガイド 支笏湖(一般財団法人 自然公園財団 編集・発行)
- 支笏洞爺国立公園 パンフレット(環境省 発行)
- 支笏湖の人と自然(支笏湖の人と自然編集委員会 編著/支笏湖の水とチップの会 発行)
- 自然ガイド 支笏・樽前(大橋弘一 著/北海道新聞社 発行)
- 国立公園論 一国立公園の80年を問う(国立公園研究会・自然公園財団 編/株式会社 南方新社 発行)

このたびの北海道胆振東部地震におきまして、被害にあわれた方々には心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りしております。

10年連続水質日本一の環境が生まれる理由。

噴火によって形成された巨大な水瓶

現在北海道にある6つの国立公園の一つ、「支笏洞爺国立公園」に属している支笏湖は、北海道の空の玄関口である千歳市に位置しています。支笏湖は、火山活動によって生じた日本を代表するカルデラ湖で、約4万年前に誕生しました。火山の大噴火によって直径14~18キロメートルのだ円形の陥没が生じ、そこに水がたまってできたと言われており、紋別岳をはじめモラップ山、多峰古峰山、丹鳴山、漁岳などの周辺の山々はその外輪山です。支笏湖から眺望できる風不死岳、恵庭岳、樽前山の3つの山が、カルデラ形成後に火山活動を始め成長したため、北西と南東から押しつぶされたようなひょうたん形に形成されました。

支笏湖の総面積は78.76平方キロメートルで、日本第8位。琵琶湖の約9分の1の大きさですが、水深は田沢湖に次いで全国第2位のたいへん深い湖です。最大水深363メートル、平均水深でも265メートルという深さのため、貯水量も琵琶湖に次ぐ全国第2位の多さから、支笏湖はまさに巨大な水瓶と言うことができます。対流のため表層の水温が下がりにくく、通常は真冬でも湖面が凍ることがほとんどない『日本最北の不凍湖』として知られています。

また、支笏湖の最大の特徴は、日本の湖沼でトップレベルの“透明度”です。環境省の調査によると、国内では透明度5メートル以下の湖沼が圧倒的多数を占める中で、支笏湖の

透明度は20メートル以上。2002年には透明度30.7メートルという記録も残っています。濃紺の水を湛える美しさは別名「支笏湖ブルー」と呼ばれ、訪れる人を魅了しています。

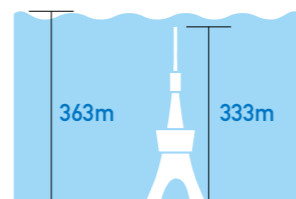
【支笏湖と周辺の山】



【支笏湖の大きさ】

最大水深 363m

東京タワー(333m)が
すっぽり入る



周囲 約40km

JR山手線(34.5km)が
ほぼ収まる



恵庭岳の西山麓にある、エメラルドグリーンの水が美しいオコタンペ湖。噴火によってできたせき止め湖で、北海道3大秘湖の一つとも言われています



1909年の噴火によってできた樽前山の溶岩ドーム。高さ約120メートル、最大径約450メートル



千歳市の水道の水源となっている「ナイベツ川湧水」が「名水百選」に選定されたことを記念して整備された名水ふれあい公園。内別川は、石狩川水系千歳川の支流となります

10年連続日本一の水質が実証する 驚愕の透明度

支笏湖の水の美しさは、データでも裏付けられています。1971(昭和46)年より環境省が実施している全国の湖沼の水質調査(公共用水域水質調査)によると、支笏湖は2007(平成19)年から2016(平成28)年まで10年連続で水質日本一に輝いています。

なぜ、支笏湖の水はきれいなのか。それは、先述したように全国第2位の深さがある支笏湖は、浅瀬が少ないために水草も育たず、プランクトンの発生が少ない貧栄養湖であることが挙げられます。さらに湖岸を自然性の高い森林が囲み、火山の噴火によって形成されたカルデラ湖であることから流入河川が少なく、水が濁る原因となる土砂の流入や落下が少ないことも理由の一つです。

こうした自然条件以外にも、この透明度を守るためにさまざまな規制や取り組みが行われています。支笏湖畔地区では1983(昭和58)年に支笏湖畔特定環境保全公共下水道の供用を開始し、宿泊施設などから出る排水が、湖に流入しないように整備されています。さらに2006(平成18)年2月からは、油を排出してしまう恐れのあるエンジン付きボートの乗り入れ規制を行っています。毎年6~8月のヒメマス釣りの解禁時期でも、許可を得ている船しか使用できません。こうしたきめ細かい規制によって、日本一の水質は守られています。

支笏湖から千歳川へ続く水のネットワーク

この日本有数の水質を誇る支笏湖から流出する唯一の河川が、支笏湖の東側を流れる千歳川です。千歳市内から北に流れ石狩川に合流して日本海へ注ぐ千歳川は、毎年サケが遡上する清流です。石狩川は、かつては太平洋に注いでいましたが、4万年前の支笏火山の噴火によってせき止められ、北に流路を転じたと考えられています。

支笏カルデラ東部の山麓一帯は湧水地帯であり、千歳川の支流の一つである内別川は、日本の名水百選にも選ばれる名水で、千歳市民の飲み水となっています。内別川と千歳川の合流地点には蘭越浄水場が設置されており、1989(平成元)年には、浄水場の横に「名水ふれあい公園」が整備されました。敷地内に湧水があり、浅瀬での水遊びを楽しみながら自然と触れ合える公園で、市民の憩いの場として親しまれています。支笏湖から千歳川へと続く水のネットワークは、ここに暮らす多くの人々に癒しと潤いを与えています。



探検家・松浦武四郎による支笏湖発見

松浦武四郎は、北海道の名付け親であり、支笏湖を最初に調査し、最初に記録に残した人物です。江戸時代末期に北海道やサハリンの調査に活躍した探検家で、1857~58年に幕府の「東西蝦夷山川地理取調御用」として北海道内陸部の状況を詳細に調べ、膨大な記録に残しています。武四郎が書いた『夕張日誌』には、1857年に千歳市から千歳川に沿って、山中を苦勞して湖畔に到達したことが記されています。





支笏湖を取り囲む山地は豊かな森に覆われており、多くの動植物が生息しています



王子製紙(株)千歳第一発電所



展望台には発電所建設に関する展示もされています



山線鉄橋は北海道で現在も使われている最古の鉄橋です

御料林から国有地化によって守られた支笏湖の歴史。

北海道開拓期にも残された原始的な自然

支笏湖は、新千歳空港や札幌市といった都心部から近距離にあるにもかかわらず、農地や大きな開発などに自然を壊されることなく、現在のような美しい自然を残すことができました。その理由の一片は、支笏湖の歩んできた歴史から知ることができます。

北海道はかつて「蝦夷地」と呼ばれ、アイヌの人々が、自然を敬い暮らしていました。そのため、支笏湖の周辺一帯の地名はアイヌ語を起源としているものが多く、支笏もアイヌ語のシ・コツ(大きな凹地)の意味で、もともとは千歳川の凹地を指す地名でした。そのシ・コツが古文書や古地図に登場するのは元禄時代以降であり、日本人が支笏湖に足を踏み入れた最初の様子は、松浦武二郎の『夕張日記』に記されています。

その後、本格的に北海道の開拓が始まったのは明治時代。1886(明治19)年に全道を統括する北海道庁が札幌に置かれると、函館と札幌を結ぶ要路であった洞爺湖周辺は交通が盛んになり、徐々に湖辺が農地として開けていきました。しかし要路から外れた支笏湖は大きな環境の変化はなく、奥深い原始的な山の湖のままでした。支笏湖・樽前山周辺の森林は1889(明治22)年に御料林*に編入されたこともあり、豊かな自然は改革期の波を受けずにそのまま残されたのです。

*明治憲法下での皇室所有の森林。北海道では63万町歩の御料林が設定されました

王子製紙苦小牧工場の建設による影響

1900年代に入ると、ついに支笏湖周辺にも変化が起きます。北海道内に工場適地を探していた王子製紙が、支笏湖と千歳川の水資源を発電に利用できることや、製紙原料となる森林資源が豊富なことから、1910(明治43)年に苦小牧に工場を完成させました。これに伴い千歳川に発電所を建設すると、支笏湖の水位は千歳川の堰堤で人工的に調整されるようになりました。さらに工場に資材や食料を運ぶために、苦小牧から支笏湖までを結ぶ軽便鉄道が開通。支笏湖までの唯一のアプローチとして「山線」という愛称で親しまれ、現在もその名残の鉄橋が支笏湖の湖畔に架かっており、シンボリックな存在となっています。

王子製紙苦小牧工場が操業を開始すると、支笏湖・樽前周辺では製紙原料のためにエゾマツやトドマツが伐採されましたが、支笏湖の自然は強く、1921(大正10)年に北海道庁が調査した天然記念物候補地の調査資料には、「俗化せざる自然の大景にあり」と記されています。さらに「樹木の伐採に制限を加える事、防火の方法を厳重に設ける事、湖畔道路開削の必要はあれど自然の風致を倒壊せざるを要す、旅館売店を許可する必要は然れどもその建造等は俗悪ならしめざる取締方法を設ける事」と提唱し、支笏湖の自然保護が意識され始めたのもこの時期だったことがわかります。

明治から昭和へ、国立公園化へのあゆみ

次に支笏湖に大きな影響を与えたのは、国立公園指定です。日本で国立公園の思想が生まれたのは明治時代後半で、1921(大正10)年に内務省が全国から16カ所の国立公園候補を選定し、北海道では阿寒、登別、大沼が選ばれました。選定に入らなかった支笏湖では、観光地として売り出そうという活動が活発化し国立公園化を申請しましたが、認められないまま時代は戦争へと突入してしまいました。しかし、この戦争が国立公園化への後押しとなります。

戦力となるべき青少年が体を鍛えるためには、国立公園の野外の自然が最適と評価され、さらに都心から近い場所に欲しいという声が大きくなっていったのです。こうして支笏湖や洞爺湖を含む「道南国立公園」が構想され、実現しないまま戦後を迎えました。終戦後、平和国家をめざして再建が始まった日本では、貴重な外貨を稼ぐための国立公園の国際観光に期待がかけられました。GHQもこの政策に好意的で、その指導のためにアメリカから国立公園の専門家であるリッチーが派遣されました。リッチーは、全国の国立公園や候補地を視察すると、支笏湖と洞爺湖を「日本の国立公園候補の中でおそらく最も重要なもの」とし、1949(昭和24)年5月に「支笏洞爺国立公園」の指定が実現されました。

国立公園としての秩序ある開発と環境保護

しかし、国立公園指定当時の支笏湖畔は、ホテルもなく、観光地らしくない集落でした。次第に観光客目当てで勝手に営業を始めた小さな売店や飲食店、ボート業者などが雑然とひしめく状態となっていきました。国立公園らしい支笏湖への環境整備が始められると、行政、住民など多くの関係者の協力によって、集団施設地区計画が進められました。売店や飲食店は一カ所にまとめて移転し、乱雑に設置されていたボート桟橋なども統合、建物の高さや色、樹木伐採などの厳しい規制もなされ、支笏湖の自然や景観は整えられていきました。

また、時代の流れとともに、支笏湖の周辺でも開発や大がかりな事業が少しずつ動き始めます。1972(昭和47)年の札幌オリンピックに際し、スキージャンプ競技のコースや設備の造成のために森林の伐採が行われましたが、跡地は施設を撤去し、植林などによって原状回復の努力が行われました。他にも道内初の有料道路「支笏湖畔有料道路」の開通、湖畔地区の温泉湧出、国道276号美笛峠新ルート開通などが続き、観光客は飛躍的に増えていきました。しかし、国立公園の目的に沿った秩序ある保護と開発が進められていったことで大自然は壊されることなく、現代の私たちもこうして気軽に自然と接することができます。

自然と共存し、自然を謳歌できる、小さな奇跡。

野生動物や多様な森に囲まれた楽園

国立公園である支笏湖は、生物の多様性を守る場所としても大切な役割を担っているため、ヒグマをはじめとしてエゾシカ、キタキツネ、ユキウサギ、エゾリスなど数多くのは乳類が生息しています。また季節ごとに変わる草花や、多彩な野鳥の姿を観察することができます。近年は、トレッキングやキャンプ、カヌーなどのアクティビティも人気を集めており、1年を通して「水を楽しむ」ことができるのも支笏湖の魅力です。チップ(ヒメマス)釣りも人気で、6月1日から8月末までの解禁期間中には多くの釣りが集まります。また厳冬の1月下旬から2月中旬にかけて開催される「千歳・支笏湖水濤まつり」では、支笏湖の湖水を噴霧して作られるオブジェが並び、違った角度から支笏湖ブルーを堪能することができます。

現在、支笏湖には年間約96万人の観光客が訪れており、支笏湖観光の案内役となっているのが「支笏湖ビジターセンター」です。支笏湖ビジターセンターは、1980(昭和55)年に開設され、2003(平成15)年にリニューアルオープンしました。館内には、支笏湖の自然を身近に感じながらより深く理解ができるように工夫された写真パネルや模型、ジオラマなどで構成された興味深い展示が揃っており、観光客と湖を結びつけています。

地元の人に愛され、継承される自然の美しさ

多くの人が行き交うこの地に、支笏湖という雄大で美しい自然が残ったのは、小さな奇跡のような出来事です。この奇

跡が生まれた要因は、もちろん国立公園として国が管理し保護してきた面もありますが、一番大きかったのは地元住民の方々の理解と協力があったことです。2006(平成18)年の動力船規制が住民からの強い要望によって実現したように、「支笏湖を守りたい。もっと良くしたい」という支笏湖への深い愛情が、この支笏湖を守ってきたと言えるでしょう。しかし近年においては、豪雨による土砂の流入や外来種の侵入など、懸念される問題は尽きることがありません。そのため支笏湖では、さまざまな人によって地道で持続的な環境活動が続けられています。支笏洞爺国立公園支笏湖地区パークボランティアは、公園内の自然環境を保つため、清掃活動や外来植物の抜き取りをはじめ、標識や歩道などの利用施設の簡単な維持管理、自然観察会の解説活動などを行っています。6月の環境月間、8月の自然公園クリーンデーには、環境省と自然公園財団の共催で湖周辺の清掃活動も実施し、毎回、市や道の職員、地元企業、自然保護団体、スポーツ少年団、専門学校生など多くの人が参加し、美しい支笏湖をみんなの手で維持しています。

2019年、支笏湖は国立公園になって70周年を迎えます。今も続く支笏湖の大自然は、支笏湖の美しさを知っているからこそ、支笏湖を誇りに思い、大切にしようという高い意識が地域の中で育った結晶です。今後も、多くの人がしっかりと湖面の輝きを見つめていくことで、美しいオアシスの水が決して濁ることなく、日本の大切な財産として後世へと残されていくことでしょう。



支笏湖周辺を産地とした自然素材をできるだけ使用して建設された、支笏湖ビジターセンター



湖畔の清掃活動とパークボランティアによる散策路の清掃
(写真提供：支笏洞爺国立公園管理事務所)

阿寒湖から支笏湖へやってきた 人々に愛される美味しいプリンセス「ヒメマス」



支笏湖を眺めながら食事を楽しめる支笏湖観光センターのテラス席

サケ科の淡水魚「ヒメマス」は、冷たく、きれいな水の中でしか生きられないと言われており、通称「チップ」と呼ばれています。味も姿も良いことから、「お姫さま」になぞらえて名付けられたと言われるヒメマスは、支笏湖の名品として多くの人々から愛されています。もともとの原産地は阿寒湖でしたが、1894(明治27)年に初めてヒメマスを支笏湖に移植し、その後増殖に成功。洞爺湖や十和田湖などにも広まってきました。通常は鮮やかな銀白色をしています。産卵期になると紅色の婚姻色に染まります。味はマスやサケ類の中で最も美味しいと言われており、刺身にして食べたり、焼くと身がしまり旨味が強まるので、塩焼きで食べるのもおすすめです。解禁期間である6～8月には、多くの人がこの味を求めて支笏湖を訪れます。

ここで食べられます!

ポロピナイ食堂 (支笏湖観光センター)

北海道千歳市幌美内番外地

Tel 0123-25-2041

営業時間 4月上旬頃～11月上旬頃 10:00～17:30(ラストオーダー)
※営業期間中は無休

休業期間 11月～3月
※休業期間はその年によって変わります。HPをご確認ください。

Web <http://poropinai.com>

支笏湖沿いに位置し、多くの人が訪れる支笏湖観光センターでは、ポートや釣りなどのレジャーも楽しめます。ポロピナイ食堂には天然のヒメマスを使ったさまざまな料理が揃い、支笏湖の雄大な景色を堪能しながら食事ができるテラス席は、特に観光客に人気です。また、天気の良い日には、風不死岳や恵庭岳が一望できます。



製品

汎用型タイマー付ブロワUniMBがリニューアル! 互換機種を追加し、現場作業も軽減しました。

主要メーカー機種の逆洗回数と逆洗時間があらかじめ搭載されたUniMBを、互換機種を追加して、リニューアルしました。また標準同梱のアダプターの性能もアップしています。



UniMB 外観

リニューアルポイント 1 タイマープログラムが進化! 設定の幅が広がりました。

● 新タイマープログラムで、互換機種が拡大。

UniMBに、さらに設定できるブロワメーカーと機種を追加した新タイマープログラムを搭載しました。また、新たにタイマープログラムパターンも増設し、合計7パターンの中から選択できるようになりました。

● QRコードですぐにプログラム選定表を確認。

タイマー設定ボタン横に、プログラム選定表を確認できるQRコードを付けました。QRコードを読み取り、表示された画面からいつでも新プログラム選定表をダウンロードすることができます。

プログラム選定表は
こちらから確認してください



リニューアルポイント 2 反転アダプターを改良! 性能がアップしました。

● 耐久性がアップ

EPDMゴムの一体成型により、耐久性が向上しました。つなぎ目がなくなり、見た目にも美しい仕上がりになっています。

● 静音性がアップ

形状の改良によって、騒音値を大幅に低減しました。

● 組み付けやすさがアップ

内径を0.3mm拡げ、組み付けがスムーズになりました。



EVENT

『下水道展'18 北九州』に出展しました。 大勢の方にブースやプレゼンテーションへご来場いただきました。

2018年7月24日から27日までの4日間、福岡県北九州市で、『下水道展'18 北九州』が開催されました。下水道処理関連企業など約300社が出展し、4日間で31,611人が来場しました。フジクリーンのブースでは、「工場製作型極小規模処理施設」を紹介。出展者プレゼンテーションでも、「下水道クイックプロジェクト 工場製作型極小規模処理施設『FGU型』」について紹介し、多くの方に聴講いただきました。



「環境教育」の一環として、小学校で 水や浄化槽についての出前講座を行いました。

現在日本では、環境や環境問題に対する興味関心を高め、必要な知識・技術・態度を得るための「環境教育」活動が、学校をはじめさまざまな場所で行われています。フジクリーンでは、2018年6月1日に、愛知県の「環境学習コーディネート事業」として、稲沢市三宅小学校で出前講座を開催しました。当日は、水の汚れや水辺に

棲む生き物の話をはじめ、水の大切さや美しい水を守るために私たちができること等を映像やスライドで紹介しました。また、浄化槽のミニチュアモデルを使い、浄化槽の仕組み説明も行いました。多くの子どもたちから積極的に質問が出るなど、興味を持っていただくことができ、貴重な意見も聞くことができました。



出前講座に参加した児童の皆さんからの感想文

TOPICS

第32回全国浄化槽技術研究集会在開催。

浄化槽に関する技術の向上と適正な普及促進を図ることを目的に、毎年開催される「全国浄化槽技術研究集会」(公益財団法人日本環境整備教育センター主催)が、10月9-10日の2日間、愛知県の名古屋国際会議場にて開催されます。また、10月9日には、「2018浄化槽

展」(愛知県合併処理浄化槽普及促進協議会主催)が開催され、フジクリーンもブース展示を行います。10月10日には「第40回浄化槽行政担当者研究会」も併催され、フジクリーンは「非常用マンホールトイレの浄化槽への展開について」を発表します。ぜひご来場ください。

もっと
motto!
広げよう

水環境をきれいに
する取り組み

愛知県田原市
環境ボランティア
サークル亀の子隊



代表
鈴木 吉春さん

「西の浜はゴミ箱じゃない!」 子どもたちの思いから始まった海の清掃活動。



2017年に受賞した「自然環境功労者環境大臣表彰」をはじめ、
多方面から評価されています

亀の子隊が結成されたのは、今から20年前の1998年。当時、愛知県田原市にある亀山小学校の4年生の児童たちが西の浜に出かけたところ、そのゴミの多さに驚き、ゴミ拾いを始めたのがきっかけでした。当初は総合学習の一環として行っていたが、休日や夏休みもやりたいという子どもたちの熱意から、学校の活動と切り離れたボランティアサークルをつくることになり、当時担任をしていた鈴木吉春さんがそのまま代表となってスタートしました。

亀の子隊が活動している西の浜は、三方を海に囲まれた渥美半島の先端に位置しています。そのため、ほとんどは海から流れ着いたゴミです。ゴミ拾いを行うにつれ、多くのゴミには名古屋や岐阜などの住所が書かれていることに気がつきました。つまり、川の上流で捨てられたゴミが海に流れ、西の浜に漂着しているのです。そこで、こうした状況を知ってもらうために、ゴミに書かれているお店や街に手紙を送る活動を始めました。中には子どもたちが送った

メッセージに返事をくれる企業や、現在も賛助隊員として協力してくれている企業もあります。

他にもゴミ拾いと並行して、楽しみながら海の素晴らしさや楽しさを知ってもらうために「スナメリ観察会」や「磯遊びの会」「塩づくり」など多彩なイベントも開催。子どもが海と触れ合う貴重な機会として、喜ばれています。また近年は、遠く離れた場所から流れてくるゴミをなくすために、田原市を飛び出して名古屋などでのイベントに参加し、西の浜の現状や思いを伝える広報活動にも力を入れています。

現在は、44名の亀の子隊員と、保護者である親亀隊員や設立時のメンバー、賛助隊員の皆様で活動をしています。最初に「西の浜はゴミ箱じゃない!」と立ち上がり、清掃活動を続けた子どもたちの熱意と、今もこの活動に理解と関心を持ってくれる人がいるからこそ、20年も続けることができたのです。今後も、海をきれいにしたいという願いと故郷を愛する思いは、多くの人へ広がっていくことでしょう。



美しい水を守る

フジクリーン工業株式会社

本社 名古屋市千種区今池四丁目1番4号 〒464-8613 TEL (052) 733-0325 <http://www.fujiclean.co.jp>

札幌支店 (011) 882-1222	茨城営業所 (029) 839-2271	岐阜営業所 (058) 274-1011	佐賀営業所 (0952) 31-9151
東北支店 (022) 212-3339	宇都宮営業所 (028) 625-4650	静岡営業所 (054) 286-4145	熊本営業所 (096) 388-3571
東京支店 (03) 3288-4511	群馬営業所 (027) 327-5611	四日市営業所 (059) 350-0788	大分営業所 (097) 558-5135
名古屋支店 (052) 733-0250	埼玉営業所 (048) 620-1424	和歌山営業所 (073) 422-3634	宮崎営業所 (0985) 32-3064
大阪支店 (06) 6396-6166	千葉営業所 (043) 206-5171	広島営業所 (082) 843-3315	鹿児島営業所 (099) 257-3501
福岡支店 (092) 441-0222	新潟営業所 (025) 271-8668	高松営業所 (087) 869-8680	沖縄営業所 (098) 862-9533
盛岡営業所 (019) 604-2527	山梨営業所 (055) 275-9300	松山営業所 (089) 967-6123	
郡山営業所 (024) 944-7780	松本営業所 (0263) 27-2080	高知営業所 (088) 803-1520	



発行 2018年10月1日
フジクリーン工業株式会社「水の話」編集室